

## 特定非営利活動法人地球と未来の環境基金

## 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## ◆ 事業の成果

本年度実施した事業は下記の通りである。

## (1) 国内森林保全事業

- ・ 岩手県西和賀町での植樹地メンテナンス事業 ..... P2
- ・ 千葉県君津市での植樹地メンテナンス事業 ..... P3
- ・ 千葉県富津市での植樹事業 ..... P4
- ・ 埼玉県秩父郡での森林整備事業 ..... P5
- ・ 埼玉県日高市での植樹事業 ..... P6
- ・ 長野県富士見町での植樹事業 ..... P7
- ・ 静岡県川根本町での森林整備事業 ..... P8
- ・ 奈良県吉野町での森林整備事業、植樹地メンテナンス事業 ..... P9
- ・ 大阪府四條畷市での森林整備事業 ..... P10
- ・ 広島県竹原市での植樹事業 ..... P11
- ・ 新規案件への対応等調査事業 ..... P13
- ・ 千葉県君津市での自然体験活動拠点の基盤整備事業 ..... P15

## (2) 海外環境保全事業

- ・ ブラジル・アマゾン河口島での植樹事業 ..... P16

## (3) バガス(非木材紙)普及事業

- ・ バガスモールドの普及販売事業 ..... P17

## (4) 環境助成金プログラム支援事業

- ・ 自伐型林業地域実装による森の就労支援事業(休眠預金等活用事業) ..... P18
- ・ 地域の森林を守り育てる生業創出支援事業(休眠預金等活用事業) ..... P20
- ・ 環境助成プログラムの運営支援事業((公財)東急財団「多摩川の美しい未来づくり助成」) ..... P21
- ・ 原子力産業基盤強化事業費補助金(資源エネルギー庁) ..... P22
- ・ 原子力の安全性向上に資する技術開発費補助金(資源エネルギー庁) ..... P22
- ・ 社会的要請に応える革新的な原子力技術開発支援事業補助金(資源エネルギー庁) ..... P22

## ◆ 2023年度 ご寄付ご協賛企業・団体一覧 ..... P23

## 1) 国内森林保全事業

### 【岩手県西和賀町での植樹地メンテナンス事業】

当該地は2001年6月に植樹活動をスタートさせたザ・パックフォレスト1号地である。植樹から20年以上が経過し、木々の幹の高さも6~10m程度となり、木陰ができる林になっている。2001年スタート当時からのパートナーである地元の「西和賀森づくり隊」にお手伝いいただき、今年も植樹地の下刈り、枝打ちなど実施した。

木々の成長とともに枝が大きく張り、樹冠部では枝同志がぶつかり合う所が増えている。そうした箇所は枝を切り、林の中に日光が入るようメンテナンスを行なった他、下刈りについては、植樹地はもちろん国道脇に設置したフォレスト活動地を示す看板周辺もきれいに草を刈った。

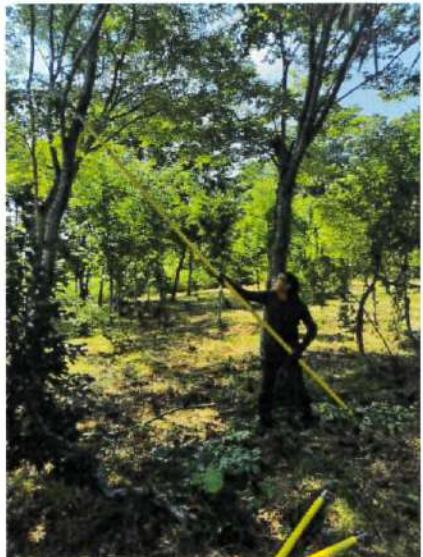
- 活動場所： 岩手県和賀郡西和賀町大渡(旧牧草地で荒廃していた民有地約0.45ha)
- 活動内容： 植樹地の下刈り、枝打ちなどの整備
- 活動日： 2023年8月6日(日)
- 参加者数： 6名(うち西和賀森づくり隊メンバー4名)



(写真左)20年余り経過したザ・パックフォレスト1号地



(写真右)西和賀森づくり隊メンバーと会長・高橋(前列右)



(写真左)樹冠で枝が混みあっている所は枝を伐り、光が入るように。(写真右)ザ・パックフォレスト看板周囲も下刈りした。



## 【千葉県君津市での植樹地メンテナンス事業】

君津市のザ・パックフォレスト第5号地では、「豊果(ゆたか)の森」のメンテナンスを実施した。林道建設時の残土を埋め立てた場所であることから、当該植樹地は土質が悪く、2009年2月と2011年3月に植樹を実施して10年以上経過しているが、苗木の成長が芳しくなく、下刈りに加えて肥料を投入するなどメンテナンスを続けている。

今年度も、引き続き下草刈りや施肥を実施し、梅の枝の剪定作業を専門の植木職人に依頼して実施した。前年度に引き続き梅の木から梅(青梅・黄梅合わせて約30kg)を収穫したが、ミカンの木は今年結実しなかった。収穫した梅は、梅酒、ジュース、梅干し、ジャムに加工した。

- 活動場所： 千葉県君津市折木沢の民有林(0.3ha)
- 活動内容： 植樹地のメンテナンス作業(草刈り、施肥、梅の木の剪定)、梅の収穫・加工
- 活動日： 2023年6月17日(土)・18日(日)
- 参加者数： 2日間で延べ6名(※うち2名は専門職人)

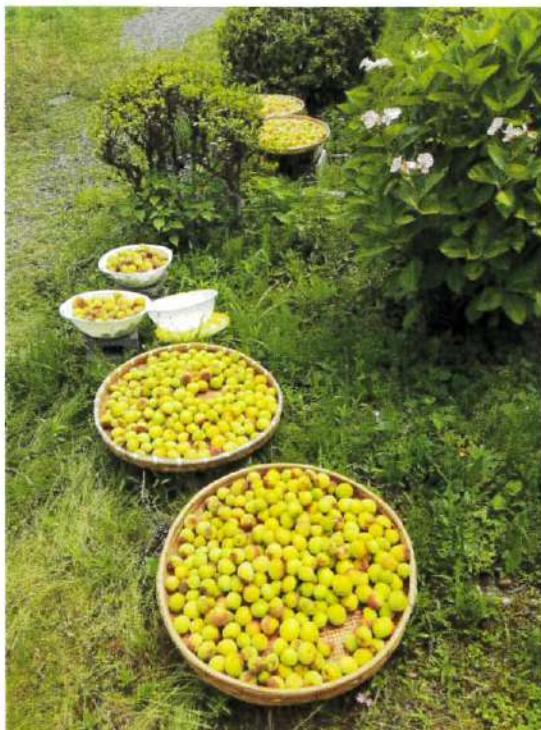


(写真右) 植樹地の梅の木の様子。枝の剪定や下刈りを行った。

梅は毎年良く実っている。

(写真左下) 柿の木は育ちが悪く、施肥を行った。

(写真右下) 梅収穫後、水洗い、天日干しをした後、梅干しに加工。



## 【千葉県富津市での植樹事業】

2023 年 2 月に千葉県と法人の森協定を締結し、千葉県富津市の富津岬における松林の再生活動をスタートさせた。当該地は白砂青松の海岸線が続く風光明媚な場所だが、害虫による松枯れが広がり、多くの松林が枯れ、いばらなど含む灌木が生い茂っているのが現況である。

2023 年度は、4 月植樹(雨天でイベントは中止)、その後 7 月、10 月と植樹地の下刈り、2 月、3 月にかけて 2 回目の植樹に向けた地拵え、3 月末に植樹イベントの開催を行った。活動資金は企業寄付や緑の募金助成を主体に調達した。2023 年 4 月の植樹イベントは雨天で中止となり、別日に EFF スタッフと協力者、高橋会長の学友らで植え付けを行った。2024 年 3 月の植樹イベントは晴天に恵まれ無事開催することができた。

3 月 30 日(土)に開催した植樹活動では、アクアラインの渋滞等でボランティアを乗せたバスが予定より大幅に遅れた。しかし、昨年植え付け作業に協力してくれた方が経験者として再度参加され、約 20 名の市民ボランティアにより手際よく 300 本のクロマツを 1 時間程度で植え付けることができた。

国全体で低炭素社会を目指す現在、植えた苗木は CO<sub>2</sub> の吸収源として実質的に二酸化炭素削減に貢献する。市民個人のレベルで実践できる活動として、次年度は、植樹地隣接の別荘地へのチラシポスティングを行なうなど、近隣住民の参加も促していきたい。

なお、本活動に対して、今年度も株)NTT ドコモからご寄付をいただいた。感謝申し上げたい。

- 活動場所: 千葉県富津市富津岬(富津市富津字中下洲原 2343-1)  
海岸沿いの松林 約 0.5ha(5,000 m<sup>2</sup>) ※植樹面積は毎年概ね 0.1ha
- 活動内容: 植樹予定地の地拵え(いばらや灌木の撤去)、植樹地の下刈り、植樹  
※4 月 15 日(土)に予定していた第 1 回目の植樹活動は雨天のため中止
- 活動日: 2023 年 4 月 1 日(土) 地拵え  
4 月 8 日(土) 植付印設置  
4 月 14 日(金)・22 日(土) 苗木荷受、植付  
7 月 3 日(月)、10 月 4 日(水) 植樹地下刈り  
2024 年 2 月 11 日(日)・12 日(月)・17 日(土)、3 月 2 日(土)・3 日(日) 地拵え  
3 月 30 日(土) 植樹活動
- 参加者数: 地拵え(2023 年 4 月: 延べ 9 名、2024 年 2~3 月: 延べ 17 名)  
下刈り(延べ 8 名)  
植樹(2023 年 4 月: 延べ 9 名、2024 年 3 月: 22 名)
- 備考: 植樹本数は第 1 回目 260 本、第 2 回目 300 本イベントで、いずれもクロマツ  
全体計画は、2023~2027 年で毎年約 1,000 m<sup>2</sup> の植樹およびその後の育樹活動を行なう予定



(写真左)イバラと灌木に覆われた植樹予定地の地拵え作業中。平均年齢 70 歳超の強力メンバーが延べ 5 日間汗を流した。  
(写真右)2024 年 3 月の植樹活動後。参加者のうち 5 名は、昨年雨天中止となった後、植付を手伝ってくれた方々。感謝!

## 【埼玉県秩父郡での森林整備事業】

本事業は2022年度より実施している、荒川上流の水源涵養機能向上を目指した森づくり活動(間伐イベント)である。今年度から、中外製薬株が埼玉県および埼玉県農林公社と「森林(もり)づくり協定」を結び、同社主催の事業にEFFが協力(共催)する体制に変わっている。

2年目となる本活動は、中外製薬株の浮間工場や東京本社から社員12名とその家族9名の参加があり、埼玉県農林公社による施業指導と環境教育を提供した。子どもの参加が多かったこともあり、怪我に十分に注意しながら丁寧なフォローを心掛けたため実際に伐採した木は3本と少なかったが、間伐の意義や山林が持つ生態系サービスの重要性などを細かに伝えることができた。

- 活動場所：埼玉県秩父郡秩父市芦ヶ久保字平久保地内((公社)埼玉県農林公社所有の森林)
- 活動内容：間伐作業
- 活動日：2023年10月8日(土)
- 参加者数：21名(中外製薬株の社員12名+家族9名)



(左)非日常的な森林の整備活動に励みました



(右)お父さんといっしょにギコギコギコ...



(左)山林の中で、指導者から間伐の意義を説明いただきました



(右)また、ご家族でぜひご参加ください！

## 【埼玉県日高市での植樹事業】

### ◆ PG フォレスト in 日高

2023年4月6日、埼玉県日高市の民有林において、協賛企業である株TSIとザ・パック株の社員ボランティアによる植樹活動を実施した。本活動は株TSIが展開するゴルフアパレルブランド「パーリーゲイツ」と協働で活動し、株TSI開催イベントの収益金の一部を活動資金に提供いただいた。当日は地元NPO西川・森の市場より植樹指導を仰ぎ企業のボランティア計18名を3つの班に分け、苗木28本(内訳:クヌギ20本、ヤマザクラ5本、アカマツ3本)を植栽し、それぞれに獣害防止のためのネットを施用した。

本活動地は、戦後スギ、ヒノキが植えられていたが、陽当たりが悪いことなどから、県が実施する制度「武蔵野の森再生事業」を活用し樹種転換を図った場所である。2014年3月からザ・パック株の社員ボランティアにより植樹したが、獣害防止用のネットを被せていなかったため、多くが食害に遭い枯れていた。本活動を通じて3年かけて捕植していく計画である。

都市生活者は森林が持つ公益的機能(CO<sub>2</sub>吸収、森林が貯える水、生態系維持など)の恩恵を受けている。本活動は平素都会で働く企業社員が自らの手で豊かな自然を守り育て、地球温暖化防止や水源涵養能向上に寄与していくことを趣旨としており、植栽活動終了後も苗木が十分に大きくなるまで育林を続けていきたい。

- 活動場所: 埼玉県日高市の民有林(0.12ha)
- 活動内容: 植樹(10年ほど前にザ・パック株が植栽した場所での補植)
- 開催日時: 2023年4月6日(土)
- 参加者数: 18名(株TSI、ザ・パック株の社員ボランティア、EFF)
- 備考: 植付樹種はクヌギ20本、ヤマザクラ5本、アカマツ3本

※いずれも獣害防止ネットを施用



(左)獣害防止用のネットを組み立てている



(右)植え付けた苗木の傍でガッツポーズ

また、2023年11月には、株TSIとザ・パック株の社員ボランティア計6名を迎えて、NPO法人西川・森の市場の指導のもと、植林木周辺の下草刈りと獣害防止ネットのメンテナンスを実施した。長柄鎌の扱いに慣れていない参加者もいたため、次回以降は道具の扱い方を丁寧にレクチャーしたい。

- 開催日時: 2023年11月28日(火)9:20~10:50
- 参加者数: 協賛企業6名(株TSI2名、ザ・パック株4名)、EFF

## 【長野県富士見町での植樹事業】

### ○ 富士見町フォレスト活動

2023年6月10日(土)、長野県諏訪郡富士見町の山林において、ザ・パックフォレストの植林イベントを開催した(第9号地)。本活動は長野県の『森林(もり)の里親促進事業』を活用し、富士見町立沢区の共有林1.8ha(アカマツ・カラマツ混交林)を6区画に分け、各年0.3haを伐採し、その皆伐跡地にカラマツ700本/年を6年かけて植栽、森林の人工更新を促していく。戦後造林から70年以上経過したカラマツとアカマツの混交林は主伐期を迎えており、しかし皆伐後の再造林にかかるコストは森林保有者にとって大きな悩みであり、企業社員が社会貢献活動の場として一部コストを負担することは、双方にとって恩恵がある。

本活動においても、皆伐作業費および材の運搬、地拵えの費用は富士見町が負担し、里親企業に求められる森づくり費用は、苗木とイベント費用(バスチャーター、昼食費用、参加者の保険、軍手等の消耗品など)のみとなる。

初年度はザ・パック(株)の社員ボランティア35名が参加した。植林活動終了後も苗木が十分に大きくなるまで育林を続け(下草刈り作業は立沢区の財産管理員会に委託)、持続可能な森林を作っていくたい。

- 活動場所: 富士見町立沢区の共有林1.8haのうち0.3ha
- 活動内容: 植林活動
- 活動日: 2023年6月10日(土)
- 参加者数: 35名(内訳は、ザ・パック(株)や関係企業の社員やその家族、EFF)
- 備考: 植付樹種はカラマツ700本



(左)平坦な場所なので3-4歳児もいっしょに活動できます



(右)専用の穴掘り機を使えば簡単に植栽可能です



(左)ご夫婦で参加いただきました



(右)活動終了後の記念撮影

## 【静岡県川根本町での森林整備事業】

本事業は、2019年度より中外製薬株の協賛を得て、大井川の水源涵養能向上と土砂崩れ防止を目的に、当団体の自主事業として、地元NPOかわね来風と共に取り組んでいる森づくり活動である。

### ○ 植樹地の灌木除去 & メンテナンス活動

川根本町1号植樹地である上長尾地区(2013年3月植栽)において、中外製薬株藤枝工場等の社員とその家族の参加を得て、木の生長を妨げている灌木の除去とメンテナンス活動を行なった。一部には枯れてい る苗木があるが、全体的には良好に生長している。中外製薬株と地元の協力を得て、丁寧な育林を続けていきたい。

- 活動場所: 静岡県榛原郡川根本町上長尾の山林(民有林) 約0.3ha
- 活動内容: 植樹地の灌木除去とメンテナンス作業
- 活動日: 2023年9月2日(土)
- 参加者数: 17名(うち、中外製薬株の社員9名+家族7名、一般ボランティア1名、EFF1名)



灌木除去活動@上長尾

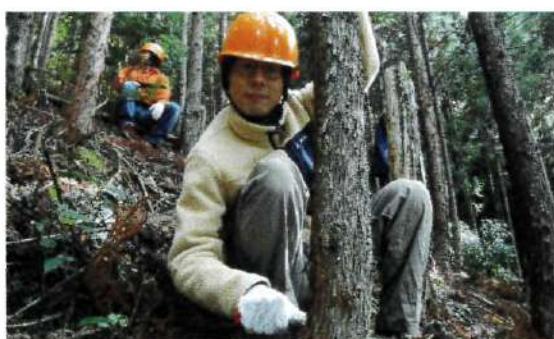


灌木除去活動@上長尾

### ○ 山林の間伐ボランティア活動

適度に間伐することで山林に光を入れて光合成を促進し、主木を生長させ、土砂崩れ防止と水源涵養能の向上に寄与することを目的に、同町の山林において間伐体験と木エイイベントを開催した。今後はボランティアが実際に伐った木を翌年の木工WSで使用したり、地元の木工業者と連携して中外製薬株が社会貢献をPRする際のグッズを製作したりするなど(茶箱、コースター、etc.)の計画を立てている。「木づかい活動」にも取り組んでいきたいという中外製薬株の意向を受け、地元業者と連携して新しい展開を試みていく。

- 活動場所: 静岡県榛原郡川根本町尾呂久保の山林 0.1ha
- 活動内容: 〈午前の部〉間伐活動 〈午後の部〉木エイイベント
- 活動日: 2023年11月8日(土)
- 参加者数: 12名(うち、中外製薬株の社員7名+家族5名、EFF1名)



(左)直径10~15cm程度の木を伐採しました



(右)積み木づくりワークショップ

## 【奈良県吉野町での森林整備事業、植樹地メンテナンス事業】

### ○ 「元気森・MORI in 吉野山」(間伐体験イベント)

奈良県吉野町の吉野山において、協賛企業であるザ・パック(株)と(株)エディオン、上智大学大学院地球環境学研究科の留学生ボランティアが参加する間伐体験イベント「元気もり・MORI in 吉野山」を開催した。

参加者42名を全5班に分け、各班の林業専門家による指導のもと吉野山の森林整備に汗を流した。木を倒す場合、通常は倒す方向を決め、手鋸で受け口(三角形の切れ込み)を作った後、反対側の追い口から切っていき、ロープで引き倒す。しかし今回活動した山林は相当に長期間枝打ちや間伐などの整備をせず放置されていたようで、朽ちた木が多く、それらは手で押すだけでも容易に倒せてしまっていた。間伐後は陽の光が入るようになり、気持ちの良い山林へと生まれ変わった。

活動終了後は森林セラピー弁当を配給して解散したが、「吉野と暮らす会」(吉野町の林業家、製材所、集成材工場、木工所の後継者有志で結成)が主催する「よしのウッドフェス」へと繰り出した参加者も多かったようだ。

- 活動場所: 奈良県吉野郡吉野町吉野山の民有林 1.0ha
- 活動内容: スギ・ヒノキの混合林の間伐
- 活動日: 2023年10月21日(土)
- 参加者数: 42名 (内訳) 協賛企業社員24名(ザ・パック(株)19名、(株)エディオン7名)、  
上智大学大学院地球環境学研究科の留学生14名、EFF



上智大学織先生と留学生

### ○ 世界(文化)遺産吉野の山の森林保全と育成

2010年11月より、(株)パル、町内の山林所有者北岡本店、吉野中央森林組合、ザ・パック(株)と5者協定「世界(文化)遺産吉野の山の森林保全と育成」を目的とした「PAL／フォレスト植林」を結び、生物多様性の森への保全と育成を目指して、緑の保全活動と植林事業を展開している。植樹から10年以上が経過し、一部陽当たりや土質の悪さから生育の悪い木もあるが、多くの苗木は7~8mほどに生長している。

2023年11月は、(株)パルとザ・パック(株)より社員ボランティア計37名を迎え入れて、吉野中央森林組合の指導を仰ぎながら、植樹地の下草刈り作業を実施した。

参加者の手際が良かったこともあり、予定よりも早く作業が終了した。参加者には概ね満足いただけたとは思うが、少し物足りなく感じた方もいたかもしれない。次回は、森林組合と協議して作業量を増やすなどの調整をしたい。



茂った下草(すすきや笹)を刈る様子

- 活動場所: 奈良県吉野郡吉野町の民有林 0.5ha
- 活動内容: 植樹地の下草刈り
- 活動日: 2023年11月11日(土)
- 参加者数: 40名 (うち、(株)パル22名、ザ・パック(株)15名、EFF3名)

## 【大阪府四條畷市での森林整備事業】

### ○ 四條畷市ふれあいの森づくり活動(間伐)

本活動は、ザ・パック株が 2016 年から大阪府四條畷市の山林においてスタートした活動(ザ・パックフォレスト第 8 号地)で、年 3 回のペースで同社社員が参加する間伐体験イベントを開催している。大阪府が実施している「アドプトフォレスト制度」を活用し、スギ・ヒノキの混交林を間伐することで、生物多様性の保全とともに地域景観の整備と憩いの場作りを通じ荒れた森林の再生を目指している。2023 年度より本活動についても EFF が事務局を務めることになった。4 月は雨天で中止となつたが、6 月、10 月は開催することができ、のべ 36 人の参加を得て、大阪の都市近郊(バスで 1 時間程度)で貴重な山林の整備に取り組んだ。今後は、同社の新入社員研修プログラムにも活用していくことを協議中。

- 活動場所: 大阪府が所有する公有林(四條畷市立野外活動センターより徒歩圏)
- 活動内容: スギ・ヒノキの混交林の間伐
- 活動日: 2023 年 6 月 10 日(土)、10 月 14 日(土)  
※4 月 15 日(土)は雨天中止  
※6 月 10 日(土)は富士見フォレストと重複したため EFF は不参加
- 参加者数: 6 月 10 日(土)...12 人、10 月 14 日(土)...24 人



(左)伐採した木は、その後も作業しやすいように枝打ち



(右)集合写真



(左)10~15 cmほどのヒノキを伐採しました



(右)活動終了後には、スマーブ(焼いたマシュマロをチョコといっしょにビスケットで挟んだお菓子)を作りました。

## 【広島県竹原市での植樹地メンテナンス事業、植樹活動】

○ 植樹地の下刈り活動

2020年よりCOVID-19の感染拡大防止を図るため、大勢のボランティアを集めて開催する森林保全イベントは開催を見送ってきたが、感染症の位置づけが5類に移行したことから、少しずつ従来の活動規模に戻りつつある。竹原市での本活動も同様である。

2018年7月に発生した記録的な集中豪雨「平成30年7月豪雨」は、西日本を中心に多くの地域で河川の氾濫や浸水害、深刻な土砂災害を引き起こした。バンブー・ジョイ・ハイランド公園周辺の山林も同様に土砂が流出、斜面が崩落していることから、その災害跡地の自然再生を目的に2023年3月に植栽活動を行なった。本活動は、その際に植栽した苗木(モミジ10本、ヤマザクラ10本、ヤマモモ40本、スーパーマツ40本)の育林を目的とした下草刈りイベントである。

- 活動場所： 広島県竹原市高崎町(バンブー・ジョイ・ハイランド周辺の山林) 0.2ha
- 活動内容： 2023年3月に植栽地の下刈りと整備
- 活動日： 2023年8月26日(土)
- 参加者数： 22名（内訳：協賛企業15名、竹原市役所5名、EFF4名）



(左)中腰になって手鎌で刈る作業はなかなかハード



(右)植林木には獣害防止用のカバーを被せています



(左)一瞬だけ手を止めていただきカメラ目線で



(右)8月の暑い中の作業、おつかれさまでした！

○ 2024 広島フォレスト植林活動 in たけはら 春の植樹活動 & 20周年記念フォーラム

前項の活動と同様に、「平成30年7月豪雨」によって崩落した斜面の山林再生を目的として、植樹イベントを開催した。この地域は降雨量が少ない瀬戸内独特の気候や、「まさ土」と呼ばれる花こう岩土壌の性質もあり、森林火災や土砂災害が起きやすい特徴がある。土砂崩れ防止と水源涵養能の向上に寄与するという趣旨で活動を継続し、広島県都市部の企業ボランティアに参加を呼びかけて支援を募るとともに地元市民の参画を工夫していく。

2004年からスタートした竹原市での本活動は今年20周年を迎える。そこで、2024年3月は20周年記念イベントとして、午前に植樹活動を行い、午後は20周年記念フォーラムを開催した。午前の植樹活動には、協賛企業3社(株エディオン、株フィル・エ・クチーレ、ザ・パック株)の社員、竹原市職員、市民など計51名の参加を得て、モミジ210本を植樹した(全てに獣害防止ネット施用)。小雨が降る中での作業だったが、植樹地が平坦だったこともあり、ケガ人もなく無事に植付作業を実施することができた。企業や地元市民、森林組合等の協力を得て、育樹を続けていきたい。

午後の20周年記念フォーラムには、植栽活動の参加者から協賛企業2社(株フィル・エ・クチーレ、ザ・パック株)の社員、竹原市職員、竹原市民など計17名が参加した。前半では、当団体から写真などを交えて広島フォレスト立ち上げの経緯や20年の歴史を説明した。後半にはザ・パック株の社員、竹原市で子どもを育てるママ、竹原市職員、森林組合職員に登壇いただき、パネルセッションを行った。セッションでは本活動に参加する多様な人々の視点からの感想、意見や提案をいただいた。20年の歴史を共有するとともに、今後の活動発展に関するアイデアについて意見交換し、ボランティアの参加意欲を高める機会とすることことができた。午前の植栽活動から午後のフォーラムに続けて参加する人が減ってしまったため、同様の企画を催す際は参加者を増やす工夫を検討したい。

- 活動場所: 広島県竹原市高崎町(バンブー・ジョイ・ハイランド裏手の山林) 約0.2ha  
バンブー・ジョイ・ハイランド会議室
- 活動内容: 〈午前の部〉植林活動 〈午後の部〉広島フォレスト20周年記念フォーラムの開催
- 活動日: 2024年3月23日(土) 〈午前の部〉10:00~12:00 〈午後の部〉13:00~15:00
- 参加者数: 〈午前の部〉54名  
 (内訳) 協賛企業(ザ・パック株)...8名、(株)フィル・エ・クチーレ...3名、(株)エディオン...6名)  
 ・竹原市民...34名 ・竹原市...1名 ・EFF...3名  
 〈午後の部〉21名  
 (内訳) 協賛企業(ザ・パック株)...8名、(株)フィル・エ・クチーレ...3名)  
 ・竹原市民...6名 ・竹原市...1名 ・EFF...3名
- 備考: 植付樹種はモミジ217本(うち、記念植樹7本)  
 ※すべての苗木に獣害防止用のカバーを施用



(左)小雨の中の作業、ありがとうございました！



(右)20周年記念おめでとうございました

## 【新規案件への対応等調査事業】

ザ・パックフォレスト活動の新しい活動地については、ザ・パック株側からいくつか候補エリアを指定され、ネット等でのリサーチ、現地関係機関への問合せ、視察、交渉など行っている。新規活動候補地には、優先順位として、①近畿地区、②関東圏、③福岡県、④北海道が挙がっている。

①の近畿地区では、現在、奈良県吉野町と大阪府四條畷市で活動を継続しているが、いずれも間伐を中心とした整備活動であり、大阪府、和歌山県、兵庫県、京都府など他府県で新しく植樹活動ができる場所をリサーチ中である。②の関東圏については、千葉県富津市の富津岬での松林再生植樹(千葉県法人の森制度)を候補として、2023年12月18日(月)にザ・パックご担当者と現地を訪問、千葉県側からは中部林業事務所のご担当者が同行頂き、いくつかの候補地を視察した。その後、具体的に候補地を定め、準備期間を考え、2025年春スタートを想定し、千葉県側と協定締結準備に入った。しかし、候補地の現況植生は竹や灌木が繁茂しており、地拵え費用が高額となること、東京都内から現地までの交通状況の悪さなど、諸条件から断念することになった。現在、新たに山梨県でリサーチを進めている。③の福岡県は、昨秋、福岡県林業振興課とコンタクトし、同県から企業の森づくりのサポート業務を委託されている「(公財)福岡県水源の森基金」に相談したところ、具体的な候補地(福岡市内から10km圏内、曲渕ダムがある水源エリア)の提案を受けた。準備期間を勘案し、活動開始は2025年春と想定して、次年度には現地視察を含めて具体的な折衝に入る予定である。④の北海道については、2023年度は具体的なリサーチ活動を行なっておらず、優先順位の高いエリアの進捗を睨みつつ2024年度に入ってから検討を進める。

## 【③福岡県の活動候補地】



また、ザ・パック(株)より、川や海の保全にもつながるようなザ・パックフォレストの新しい活動スタイルを検討したいという相談が寄せられた。まずは関東圏の社員を対象にトライアルする方向で協議を進めており、荒川を中心に当該テーマの実績が豊富なNPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム(ACF)をザ・パック(株)の担当者とともにヒアリング、ACFが主催するクリーンアップ活動に参加した。

ザ・パックフォレストは、秋は間伐、春は植栽の活動で忙ただしい。真夏はスケジュールが比較的ゆるやかだが、猛暑日に河川のごみ拾いを実施するのは健康被害が起こるリスクがある。具体的な日程や開催方法を含め、ザ・パック(株)と検討を続けていく。

〈荒川クリーンエイド・フォーラムへのヒアリング〉

- 日 時: 2023年6月27日(火)15:00~16:30
- 場 所: 荒川クリーンエイド・フォーラム事務所(東京都江戸川区)

〈クリーンアップ活動への参加〉

- 日 時: 2023年9月16日(土)
- 場 所: 荒川河川敷(都営新宿線東大島駅徒歩10分程度)



〈集めたごみ〉

燃やすごみ...12袋(45L)、PETボトル...5袋(45L)、びん...3袋(25L)、缶...2袋(25L)、粗大ごみ...1個

## 【千葉県君津市での自然体験活動拠点の基盤整備事業】

千葉県君津市での農業体験の基盤整備は、コロナ禍が只中の2021年春からスタートして以来3年が経過した。現在の三田地区の耕地では2年目のシーズンが終わった。日当たりも良好で、活動拠点である通称「小櫃ハウス」からも近く、原則週末を中心として、年間安定した活動ができるようになってきた。現在の畑を借りた際に仲介下さった方のお陰で、近隣住民と交流が生まれ、噂を聞きつけた地域住民から、「自分の所の耕作放棄地もやってくれないか」と持ち掛けられることも出てきており、農村の耕作放棄地の課題を肌で感じる。また、畑の地主からの依頼で、現在の畑に隣接する場所に果樹を植えることとなった。

畑の全体プランニングとスケジュール管理は、会長の高橋が年間100日超現場に通いながら担っている。また個別作業には定期的に有志のボランティアが参加している。11月の芋煮会、2月の味噌つくりワークショップには家族連れなどが参加した。週末のみという制約条件下で、豊作でよくできた作物と不作であった作物があり、農薬を使用せず害虫被害で不作となつた作物もあり、まだまだ試行錯誤が続いている。

理事の関係者など定期的に来訪してくれる方がいる一方で、不特定多数の参加者を募るプログラムについてはノウハウ、マンパワーが欠けており、活動資金の確保も含めて引き続き課題を残している。

- 活動場所： 千葉県君津市三田（耕作放棄地約450m<sup>2</sup>）
- 活動内容：
  - 4月 耕耘、畝立て(3畝)、植付(芋類、穀類、豆類、夏野菜)  
隣接する地主の土地に果樹(ミカン、イチジク)を植樹
  - 5月 耕耘、畝立て(2畝)、植付(夏野菜)、誘引用支柱等設置  
収穫(そら豆、玉ねぎ)
  - 6月 水やり、草取り、芽かき、追肥、補植(夏野菜)、収穫(キュウリ、ナス、ジャガイモ)、君津市・豊果の森で収穫した梅の加工
  - 7月 水やり、草取り、追肥、土寄せ、誘引、収穫(枝豆、夏野菜)、梅の土用干し植付(黒豆)、果樹園下刈り
  - 8月 草取り、追肥、誘引用支柱等撤去、収穫(夏野菜)、夏野菜畝片付け
  - 9月 夏野菜畝片付け、耕耘、畝立て(2畝) 植付(秋冬野菜)
  - 10月 耕耘、畝立て(2畝)、植付(イチゴ、ニンニク、そら豆、白菜、キャベツ、玉ねぎ)、果樹園下刈り
  - 11月 植付(そら豆、エンドウ)、収穫(芋類、レタス、落花生)、芋煮会(11/4・18)
  - 12月 収穫(芋類、秋冬野菜)、地域の関係者挨拶周り
  - 1月 追肥、耕耘、収穫(白菜、大根)、漬物仕込み
  - 2月 追肥、畝立て(1畝)、果樹補植(ブルーベリー)、植付(ジャガイモ)
  - 3月 味噌作り WS(3/4)、防草シート設置
- 参加者数： 年間延べ108日で、延べ参加者数200人程度



(写真左)芋煮会の際に参加者が畑の見学に。



(写真右)2022年度から借りている三田地区的圃場。

## (2) 海外環境保全事業

### 【ブラジル・アマゾン河口島での植樹事業】

アマゾン河口に位置するパラ州の州都ベレン市に属するコチジューバ島(約 1,600ha)は、人口約 9 千人で、零細な農業、漁業、商業と観光業で成り立っている。近年、宅地開発などで島内の自然林の伐採が進み、熱帯地域特有のスコールなどによる河岸の土壤浸食(エロージョン)が激しくなっている。島の北部で特に河岸の崩壊が著しく、学校の校舎が崩落の危機にあるなど、住民生活にも影響が出ている。当団体の現地カウンターパート団体 Asflora を通じて地元住民から侵食防止のための植樹を支援して欲しいとの要請があり、まず 2023 年～2025 年の 3 年計画で取り組むこととなった。

土壤浸食の原因の一つは、森林伐採で雨水が植生の無くなった地表を伝って急激に河川に流れ出すことも一因であろうが、河川の流れや波(河川とはいえ、島があるアマゾン河口は川幅が 20km 以上もあり、海と同じように波が立つ)の影響なども考えられ、まだ確固としたエビデンスは得られていない。さらに、現地の土地所有事情が複雑で、違法、脱法のケースが多く、河辺に違法な建物を建てている所有者は、森林保全や植樹活動に対して冷ややかで、植えた苗木を抜き去るなど悪質な妨害行為も発生している。

他方で、地域住民組織や学校、警察などは、活動の趣旨に賛同してくれ、住民間でこの問題について議論したり、植樹に必要な苗木を島内で育苗したりするなど、自分事として取り組む姿勢も生まれつつある。Asflora のスタッフが定期的に島を訪問し、環境問題に関する啓発活動を行うことで、住民の間で河岸の土壤浸食問題の一因が森林減少の影響もあることに理解が進んでいる。

2023 年 12 月上旬に、理事長の古瀬が 5 年ぶりに現地を訪問し、Asflora のスタッフとの打合せや現地住民との意見交換の場に参加した。気候変動の影響も相俟って、島嶼部の土壤浸食は島の住民にとって生活環境の悪化、生存環境の危機的状況にも繋がっており 10 年程度腰を据えて当該地域での植樹を実施し、土壤浸食を食い止める一助としたい。

#### (プロジェクトの概要)

- 活動場所： ブラジル連邦共和国パラ州ベレン市コチジューバ島
- 活動内容： 河岸侵食が進むエリアでの植樹活動、植樹に必要な苗木の育苗  
島の住民組織への啓発活動、関係機関との意見交換
- 活動日： 4～10 月 苗木育苗(Asflora 内で約 1,600 本、島内有志家庭で約 400 本、40 種程度)  
11 月 苗木等資材の搬入、植樹地の地拵え  
11～1 月 数日に分けて地元住民参加で 2,120 本を植樹  
※植樹地は点在しており、合計での植付面積は約 2,000 m<sup>2</sup>
- 参加者数： のべ 130 名程度
- 備考： 活動資金は「公益信託地球環境日本基金」及び「緑の募金」の助成を受けた。



(写真左)河岸侵食は学校校舎近くまで迫る。(写真中)島民有志が植樹用苗木を育苗する苗畠。



(写真右)植樹活動には、学校の児童や父兄も参加。



### (3) バガス(非木材紙)普及事業

#### 【大学の学園祭へのバガスマールド(エコ容器)普及販売事業】

エコ学園祭を推進する商材としてバガスマールドの導入を働きかけてきたが、2019年度冬からは新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大による影響で、オンラインの大学祭は以降3年にわたり開催が見送られてきた。コロナ禍が明け、2023年度より従来と同様の開催形式と規模で再び開催できることになったことから、以前から取引のあった農大2校に対するバガスマールドの販売を復活させることができている。

砂糖きびの搾りかす(バガス)を原料にしたバガスマールドは、未利用資源を活用、木材資源の消費低減から森林保全に寄与するとともに、焼却処理しても有害物質を発生させず、土中で容易に自然分解できるという優れた特徴を持つことから、20年以上前から大学生の学内環境活動の一つとして注目されてきた。

2012年からは、バガスマールド導入にかかる事柄だけではなく、他の環境企画やバガスマールドを土壤分解させるコツやノウハウの提供、学園祭実行委員会の人材獲得戦略や組織運営などの相談にも乗りながら、モールドの導入を働きかけてきたが、大学生数の減少や環境サークルの解散などで、そもそも大学祭の環境対策に取り組む大学が減ってきている。既存の農大2校を中心に実績を拡散し、大学に限らずプラスチックフリーに関心を寄せる民間企業へも働きかけていくことを検討したい。

#### <2023年度 学園祭でのバガスマールド導入実績(個数)>

| 大学名／企業名<br>(開催日時／納品日)           | どんぶり    |         |         |         | パック            |                | 丸皿      |         |         |                | 平角皿            |                |        | コップ    | モールド <sup>*</sup><br>合計 | 木製<br>スプーン・フォーク |        |
|---------------------------------|---------|---------|---------|---------|----------------|----------------|---------|---------|---------|----------------|----------------|----------------|--------|--------|-------------------------|-----------------|--------|
|                                 | MD-3    | MD-5    | MD-6    | MD-7    | MP-1           | MP-2           | MM-3    | MM-4    | MM-9    | MM-10          | MT-1           | MT-3           | L051   |        |                         | WS、WF           |        |
|                                 | φ154×54 | φ160×68 | φ135×47 | φ112×45 | 184×129<br>×44 | 171×118<br>×37 | φ220×20 | φ180×17 | φ152×47 | φ220×20<br>仕切り | 200×111<br>×13 | 200×140<br>×17 | φ80×91 |        |                         | 165mm、140mm     |        |
| ㈱ビーエーイー<br>(6月21日)              |         |         |         |         | 50             |                | 100     |         |         |                |                |                |        |        | 150                     |                 |        |
| 東京農業大学<br>世田谷キャンパス<br>(11月3～5日) | 5,500   |         |         |         |                | 15,100         |         |         |         |                |                |                |        | 5,000  | 14,200                  | 39,800          | 31,600 |
| 東京農業大学<br>厚木キャンパス<br>(11月4～5日)  | 4,650   | 2,000   | 950     | 1,850   | 400            | 850            |         | 1,550   | 500     |                | 1,550          | 200            | 550    | 15,050 |                         | 1,500           |        |
| 合計                              | 10,150  | 2,000   | 950     | 1,850   | 450            | 15,950         | 100     | 1,550   | 500     | 0              | 1,550          | 5,200          | 14,750 | 55,000 | 33,100                  |                 |        |



#### (4) 環境助成金プログラム支援事業

##### 【自伐型林業地域実装による森の就労支援事業(休眠預金等活用事業 / 緊急枠)】

本事業は JANPIA((一財)日本民間公益活動連携機構)が実施する休眠預金等活用事業の「2022年度新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠」に係る資金分配団体に、(特非)自伐型林業推進協会、ランドブレイン株と3者でコンソーシアムを組み実施した。助成事業の骨子は、「コロナ禍や物価高騰の影響を受け、自ら仕事や生き方を変えるきっかけを求める人」、「経済的・環境的に持続可能で災害に強い森づくり手法である自伐型林業の森林経営スタイルに共感する全国の林業就業希望者」を対象に、自伐型林業の技術研修・経営指導、受講者が自伐型林業を生業として自立していくための山林・機材確保、林業関係者の支援体制づくり等の推進を行う総合的な取組に対して支援を行うというものである。

今年度は各団体の事業実施に対してコンソーシアム団体が実行団体ごとに担当を決め、定期的に現地訪問やオンラインを通じて伴走支援を行った。2024年1月末までに実行団体の事業が完了し、2月に各実行団体から事業完了報告書や精算報告書が提出され、これに基づいて、3月には資金分配団体から各実行団体への監査を実施した。

##### <助成事業の概要>

- 対象となる地域： 日本国内の全域
- 対象団体： 自伐型林業を実践する民間公益活動を行う団体(複数団体によるコンソーシアム可)
- 助成期間： 1年間(2022年9月～2024年3月)
- 助成額： 1実行団体当たりの助成上限額は1000万円/年  
※助成総額は10000万円を目指す

##### 〈自伐型林業地域実装による森の就労支援事業 実行団体〉

| No. | 実行団体名称                                    | 所在地 | 確定助成金額      | 申請事業名称   |
|-----|---|-----|-------------|--|
| (1) | 一般社団法人東北・広域森林マネジメント機構                     | 岩手県 | 10,000,000円 | 東北自伐型林業塾   |
| (2) | 栃木県自伐型林業推進協会とちのもり<br><コンソーシアム>一般社団法人 山守学舎 | 栃木県 | 10,000,000円 | 自伐型林業による共創のもりづくり～人に喜ばれ、稼ぎのある美しい山づくり～                 |
| (3) | ほくりく自伐型林業協議会                              | 福井県 | 10,000,000円 | 自伐型林業自立支援プログラム in JAPAN<br>～森から学ぶ自立に向けた知識・技術習得プログラム～ |
| (4) | 一般社団法人ディバースライン                            | 長野県 | 9,990,000円  | 自伐型林業就労支援プログラム実施による就労定着支援事業～森とくらし森ではたらくライフスタイルの創造～   |
| (5) | 天竜小さな林業春野研究組合                             | 静岡県 | 10,000,000円 | 小規模持続型林業による希望ある未来への礎づくり～担い手育成、木材の流域流通モデル構築・地域間支援連携～  |
| (6) | 株式会社 ワイルドウインド                             | 京都府 | 10,000,000円 | 吉野発、次世代の「山守」育成事業                                     |
| (7) | 智頭町複業協同組合                                 | 鳥取県 | 9,995,000円  | 智頭の森を守る自伐林業家を持続可能にする地域内事業開発事業                        |
| (8) | 株式会社 FOREST WORKER                        | 広島県 | 10,000,000円 | 林業就業を目指した技術習得プログラムの創造事業～地域に根ざした生業としての育林研修プログラム～      |

## 2023年度事業報告書(令和5年度)

|                  |     |             |  |
|------------------|-----|-------------|--|
| (9) 高知地域林業ネットワーク | 高知県 | 9,976,195円  | 高知で始める地域の林業なりわい創生事業<br>～根っこでつながる小さい林業ネットワーク～ |
| (10) 九州林業塾       | 福岡県 | 10,000,000円 | 九州林業塾  |
| 助成総額             |     | 99,961,195円 |  |

### 〈成果報告会開催〉

2023年12月には助成事業を対外的に発表する場として、「全国を紡ぐ休眠預金～未来を照らす森業～」と題して成果報告会を開催した。本助成事業を終えた実行団体の皆さんのが東京に参集し、1年間の取り組みを報告、お互いに意見交換を行った。報告会では本事業の審査委員も交えてのパネルディスカッションを行い、1年間の取り組みを助成終了後にどう活かし、発展させて行くかという視点で活発な議論も見られた。

成果報告会の概要は以下の通り。

- 日 時： 2023年12月9日(土)10:30～18:00
- 場 所： 飯野ホール(東京都千代田区)
- 参加者： 84名(実行団体(10団体)の役員・スタッフ、コンソーシアムメンバー、審査委員など)
- 内 容：
  - ・事業説明と成果報告
    - ・研修生へのアンケート結果報告
    - ・実行団体からのプレゼンテーション
    - ・パネルディスカッション
  - テーマ1：地域人材の育成と現状・課題解決
  - テーマ2：地域コミュニティ活性化



(写真下)

成果報告会のパネルディスカッションの様子。  
パネラーには実行団体の方、審査委員、JANPIAのPOの方が登壇。  
モデレーターは資金分配団体のメンバーが務めた。



## 【地域の森林を守り育てる生業創出支援事業(休眠預金等活用事業/通常枠)】

2020年度の休眠預金等活用事業(通常枠)の資金分配団体に選定され、(特非)自伐型林業推進協会及びランドブレイン(株)とコンソーシアムを組んで実施して来た「地域の森林を守り育てる生業創出支援事業」が今期で終了した。事業の趣旨は、少子高齢化、人口減少が進行することにより、活力が失われている中山間地域において、その面積の約8割を占める森林資源に着目し、持続可能な森林施業を可能にする「自伐型林業」の手法等を活用し、地域に住み続けられる半林半Xの生業づくり創出を支援しようとするものである。

助成事業の概要は以下の通りである。

## 〈助成事業の概要〉

【対象となる地域】 日本国の全域

【対象団体】 持続可能な森林資源活用に関心を持ち、中山間地域での生業づくりを実践可能な団体  
(地域おこし協力隊、地域商社、環境系NPO等)

【助成期間】 3年(2021~2023年度)

【助成額】 1実行団体当たりの助成上限額は700万円(3年間)

※助成総額は3500万円を目指す

※助成金と別枠で評価関連経費分助成あり。

2023年度は助成期間の3年目に当たり、実行団体5団体の伴走支援、3年目の助成金の支払いを行った他、資金分配団体としての本助成事業の中間評価を行い、各実行団体の事業終了に伴い、精算を進めた。

## 〈地域の森林を守り育てる生業創出支援事業 実行団体〉

| No.  | 団体名                   | 所在地                         | 今年度<br>助成金支払額<br>(助成仮確定額)  | 申請事業名   |
|------|-----------------------|-----------------------------|----------------------------|---|
| (1)  | 合同会社 百                | 宮城県                         | 1,100,000円<br>(3,840,000円) | 「食とエネルギーの自給100%」を体験できるエコモデーションの運営と木質資源の新しい価値の創出 |
| (2)  | 株式会社<br>ワイルドウインド      | 京都府                         | 612,000円<br>(7,336,000円)   | 自然資源活用での地域生活を目指す方の独立支援事業                        |
| (3)  | 株式会社<br>FOREST WORKER | 広島県                         | 1,096,400円<br>(7,312,000円) | 林業における複業型就労の提案                                  |
| (4)  | 一般社団法人<br>ディバースライン    | 群馬県                         | 235,000円<br>(7,336,000円)   | 森の担い手育成と森・人・地域社会を豊かにする事業                        |
| (5)  | 株式会社<br>皐月屋           | 鳥取県                         | 2,033,200円<br>(7,316,000円) | 「人を活かす山を創る」場づくりと自伐型林業人材、複業・兼業人材の創出事業            |
| 助成総額 |                       | 5,076,600円<br>(33,140,000円) |                            |   |

注) 助成額は事業と別枠の評価関連経費を含んだ額。

精算作業途上のため、助成確定額は暫定額である。

## 【(公財)東急財団 多摩川の美しい未来づくり助成】

2020年度より、(公財)東急財団が実施している環境分野助成事業のプログラム再編を支援してきた。従来のプログラムでは研究者が対象だったが、実践的活動に取り組む民間非営利団体も助成対象とする「多摩川の美しい未来づくり助成」が今年度スタートした。初年度となる2024年度助成は、22件の応募に対し、選考委員会による厳正な審議を経て助成先として9件(研究者・研究機関5件、民間非営利団体4件)を採択し、総額11,535,919円の助成を決定した。

当団体では、助成プログラムのリニューアルに伴う一連の作業(助成プログラムの改訂、公募促進のための広報支援、選考委員会の開催、採択団体の助成手続き、採択結果の公表)について、事務局の運営を補佐し、助言やアドバイスを提供した。また、理事長の古瀬が外部選考委員の1人を務めた。具体的なスケジュールは以下の通り。

### 〈スケジュール〉

2023年 7月1日(土)～ 助成プログラムの公開、広報開始

9月1日(金)～10月31日(火) 応募受付期間

12月20日(水) 一次選考委員会

2024年 1月19日(金) 二次選考委員会

3月5日(火) 助成採択結果の公表

### 〈助成プログラム概要〉

- 助成対象となる研究・活動…多摩川およびその流域の環境保全・改善に関する研究・活動等

※ 以下のような研究・活動等を想定

- ① 研究者・研究機関(団体)が地域や住民に対して発信をする活動、巻き込んで行う研究等
- ② 民間非営利団体(NPO/NGO等)が一定の科学的根拠(エビデンス)に基づいて行う活動等
- ③ 研究者・研究機関(団体)と民間非営利団体(NPO/NGO等)が協働して推進する研究および活動等
- ④ ①～③を行う準備のための研究および活動等

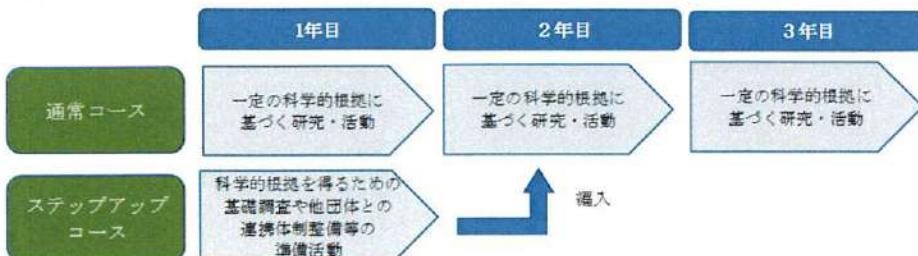
※ 以下の条件を満たすもの

- ・ 一定の科学的根拠(エビデンス)に基づくもの
- ・ 直接的、あるいは間接的に広く地域住民の環境意識の向上や行動変容につながるもの

※ 以下のような研究・活動等を積極的に応援

- ・ 研究者・研究機関(団体)と民間非営利団体(NPO/NGO等)が協働して推進する多分野協力型、実践型、提言型の研究および活動等
- ・ 狹義の学問領域の枠を超えて、成果を社会に還元する学際的・総合的な研究および活動等

- 助成の枠組み…研究や活動の計画レベルに応じて、2つの助成コースを選択可能



2011 年の東日本大震災の津波等の影響で発生した福島第一原子力発電所事故は、国際原子力事象評価尺度(INES)のレベル 7 に相当する未曾有の事故である。その廃炉作業は、この先 30~40 年がかかると目されている。当法人では 2014 年から廃炉・汚染水対策に係る基金管理を担って来たが、これに関連して廃炉工程のプロセス等でも不可欠となる原子力技術分野の研究・技術開発・人材育成や技術伝承やサプライチェーンが、長期間原子力発電所が運転停止をしている影響から、危機的な状況にある。こうしたサプライチェーンの維持や安全管理技術の向上を趣旨とした資源エネルギー庁管轄予算の以下の補助金の執行管理業務を担っている。

#### 【原子力産業基盤強化事業費補助金】

本補助金は、平成 25 年度から基金設置法人として関与して来た廃炉汚染水対策事業の派生事業の一つである。廃炉技術等を支える原子力産業分野の機器・サービスの安全性や信頼性向上に資する取り組み、人材育成や技術の伝承、サプライチェーンの維持等を目的とする取り組みに対して、当該経費の一部を補助することにより、原子力の安全性・信頼性を支えている原子力産業基盤の維持・強化を図ることを目的とするものである。当団体では本補助金の執行団体として、補助金の事務局を担った。

主な執行概要は以下の通りである。

##### (補助事業の採択件数・金額)

- 補助事業数: 30 事業(うち、令和 4 年度繰越 2 事業)
- 補助金交付実績額: 910,681 千円

#### 【原子力の安全性向上に資する技術開発費補助金】

福島原発事故のような過酷事故下では大量の水素が発生し、水素爆破が生じた。廃炉の取り組みは進行中であるが、未だ燃料デブリ回収は目途が立っておらず、過酷事故を起こさせないための対策は不可欠である。本補助金は、原子力技術の安全対策の高度化に関する研究及び開発を促進することを目的としており、我が国における原子力技術の安全水準の向上、信頼回復を図るものである。当団体では本補助金の執行団体として、補助金の事務局を担った。

主な執行概要は以下の通りである。

##### (補助事業の採択件数・金額)

- 補助事業数: 21 事業(うち、令和 4 年度繰越 2 事業)
- 補助金交付実績額: 1,247,191 千円

#### 【社会的要請に応える革新的な原子力技術開発支援事業補助金】

社会的な要請から再生可能エネルギー導入の拡大や電力自由化など社会環境変化が進む中において、原子力の分野においても革新的な技術開発を促進することが求められる。本補助金は、安全性・経済性・機動性に優れた原子力技術の高度化に資する技術開発に要する経費に対して、当該経費の一部を補助することにより、社会的要請に応える原子力技術の開発を促進し、我が国の原子力の信頼回復、産業基盤の強化を図ることを目的とするものである。当団体では本補助金の執行団体として、補助金の事務局を担った。

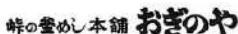
主な執行概要は以下の通りである。

##### (補助事業の採択件数・金額)

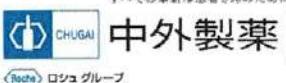
- 補助事業数: 9 事業
- 補助金交付実績額: 894,287 千円

## 2023年度ご寄付ご協賛企業・団体一覧

### ■商品の売上げや、サービスによる収益の一部からのご寄附・ご支援

|   |  |
|---|--|
|  <b>ザ・パック株式会社</b><br>ザ・パックは人と自然を大切にしています | ザ・パック株式会社 <a href="https://www.thepack.co.jp/">https://www.thepack.co.jp/</a><br>EFFが植林活動を開始した2000年から商品売上げの一部で国内森林保全活動を継続してご支援いただくと共に、整備活動にも参加いただいている。 |
|  <b>峰の塗めし本舗 おぎのや</b>                     | 株式会社荻野屋 <a href="https://www.oginoya.co.jp/">https://www.oginoya.co.jp/</a><br>国内環境保全活動を環境に配慮したパッケージを使用した商品の売上の一部でご支援頂いています。                           |
|   | 服部製紙株式会社 <a href="https://www.hattoripaper.co.jp/">https://www.hattoripaper.co.jp/</a><br>国内・海外の環境保全活動に環境に配慮したパッケージを使用した商品の売上の一部でご支援頂いています。            |

### ■各プロジェクトへのご寄付・ご協賛

|  |   |
|--|---|
|  中外製薬<br>すべての革新は患者さんのために<br>Roche ロシュグループ | 中外製薬株式会社 <a href="https://www.chugai-pharm.co.jp/">https://www.chugai-pharm.co.jp/</a><br>国内森林保全活動(静岡県川根本町)に、ご協賛・ご参加頂きました。                                    |
|  NTT docomo                               | 株式会社 NTTドコモ <a href="https://www.nttdocomo.ne.jp/">https://www.nttdocomo.ne.jp/</a><br>国内森林保全活動(千葉県富津市)に、ご協賛頂きました。  |
|  | 株式会社 TSIホールディング<br>国内森林保全活動(埼玉県日高市)に、ご協賛・ご参加頂きました。  |
|  EDION                                    | 株式会社エディオン <a href="https://www.edion.com/">https://www.edion.com/</a><br>国内森林保全活動(広島県竹原市)に、ご協賛・ご参加頂きました。  |
|  B³ B-Three                               | 株式会社バリュープランニング<br><a href="https://www.valueplanning.co.jp/">https://www.valueplanning.co.jp/</a><br>海外環境保全活動(ブラジル・アマゾンの熱帯雨林再生)に、キャンペーン期間中の売上げの一部をご寄付いただきました。 |

■その他事業は、今年度は実施せず。